

『コロナ対策の政策評価』 参考文献の URL

本文と参考文献リストにある文献については、紙媒体では URL を省略したが、読者の便宜のため、この付録で URL をリンク（2025 年 4 月 29 日閲覧）とともに示している。

本文にある文献の URL

序章 われわれは合理的に対応したのか

- 2017 年 5 月の「統計改革推進会議最終取りまとめ」

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/toukeikaikaku/pdf/saishu_honbun.pdf

- 注「「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の開催について」（新型コロナウイルス感染症対策本部決定、2020 年 2 月 14 日）」

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/senmonkakaigi/konkyo.pdf

- 注「国立感染症研究所「新型コロナウイルス SARS-CoV-2 のゲノム分子疫学調査（2020/4/16 現在）」」

<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/14057713/www.niid.go.jp/niid/ja/basic-science/genome/9586-genome-2020-1.html>

- 注「国立感染症研究所「新型コロナウイルス SARS-CoV-2 のゲノム分子疫学調査 2（2020/7/16 現在）」」

<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11607205/www.niid.go.jp/niid/ja/basic-science/467-genome/9787-genome-2020-2.html>

第 1 章 「接触 8 割削減」の科学的根拠

- 「新型インフルエンザ等対策特別措置法案に対する附帯決議 2012 年 4 月 24 日参議院内閣委員会」

https://www.sangiin.go.jp/japanese/gianjoho/ketsugi/180/f063_042401.pdf

- 「安倍首相は記者会見で以下のように述べている」

安倍首相記者会見（2020 年 4 月 7 日）

https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/statement/2020/0407kaiken.html

- 「4 月 11 日に日本経済新聞で報道され」

「「接触 7 割減」では収束まで長期化 北大教授が警鐘」（日本経済新聞、2020 年 4 月 11 日）

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO57961860R10C20A4CZ8000/>

- 「専門家有志の会の Twitter（現 X）アカウントで 4 月 15 日にツイート」

<https://x.com/ClusterJapan/status/1250639295674634240>

- 「西浦教授は4月4日に、専門家有志の会 Twitter アカウントで直接、この図の内容を説明している」

<https://x.com/ClusterJapan/status/1246314012389675009>

- 注「「5月1日の専門家会議の「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」」

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000627254.pdf>

第2章 「接触8割削減」の代替案の説明

- 「尾身会長から提出された資料で「最低7割、極力8割」が提案された」

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/shimon2.pdf#page=41>

- 「諮問委員会では押谷教授と尾身氏が、接触削減の分析結果に言及している」

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/shimon2_2.pdf

- 「4月9日に公開された「東京動画」(東京都公式動画チャンネル)」

<https://youtu.be/dUIdT4gcDLo>

- 注「この動画はライブ配信であるので、4月9日収録と推定する」

https://x.com/tocho_koho/status/1248156945770397696

- 注「kyo_twit氏(https://x.com/kyo_twit)が公文書開示請求(5政戦広第1611号)で動画を入手しており、一連のファイルが、Googleドライブに格納されている」

[https://drive.google.com/drive/folders/1-6yF2JkFR74nT-](https://drive.google.com/drive/folders/1-6yF2JkFR74nT-3FI6iq3HQoWvLrYVxt?usp=drive_link)

[3FI6iq3HQoWvLrYVxt?usp=drive_link](https://drive.google.com/drive/folders/1-6yF2JkFR74nT-3FI6iq3HQoWvLrYVxt?usp=drive_link)

- 「文字起こし記録がインターネットアーカイブにあるが」

<https://web.archive.org/web/20200410155042/https://tokyodouga.jp/duidt4gcdlo.html>

- 「尾身氏は、4月13日に放送されたテレビ番組「news zero」で、・・・と発言している」

「大切な人を守るため「自ら感染防止対策を」 山中伸弥教授と尾身茂氏が緊急対談 | 新型コロナウイルスと私たちの暮らし・日テレ特設サイト」日本テレビ

https://www.ntv.co.jp/news_covid19/static/zero_0413OA.html

- 「4月24日に放送された動画」

「尾身氏「歴史的なチャレンジを我々はやっている」 山中教授・尾身茂氏が語る、私たちが今できること | 新型コロナウイルスと私たちの暮らし・日テレ特設サイト」日本テレビ

https://www.ntv.co.jp/news_covid19/static/2020427_f01.html

- 「4月22日の「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」であった。この資料は、会議時に配布された案」

「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」(案)(新型コロナウイルス感染症対策専門家会議、2020年4月22日)

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/senmonkakaigi/sidai_r020422.pdf

- 「会議後に発表された決定稿」
「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（新型コロナウイルス感染症対策専門家会議、2020 年 4 月 22 日）
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000624048.pdf>
- 「総理から国民の皆さんに、この 8 割の行動制限なぜ必要なのか、数字を入れて、是非このテレビを通して訴えていただきたい。」
<https://kokkai.ndl.go.jp/txt/120115261X01720200429/290>
- 「4 月 22 日の専門家会議の提言の内容に沿って、以下のように答弁した」
<https://kokkai.ndl.go.jp/txt/120115261X01720200429/291>
- 注「専門家有志の会の Twitter アカウントによる 4 月 15 日のツイート」
<https://twitter.com/ClusterJapan/status/1250639295674634240>
- 「日本経済新聞で報道された際には、100 人の線は水平線に置き換えられていて、新聞社が訂正をしている」
「接触 7 割減」では収束まで長期化 北大教授が警鐘（日本経済新聞、2020 年 4 月 11 日）
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO57961860R10C20A4CZ8000/>。

第 3 章 「接触 8 割削減」の検証可能性

- 「緊急事態宣言が解除された 5 月 25 日の記者会見」
https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/statement/2020/0525kaiken.html
- 注「「言わなくなった「最低 7 割」減 安倍首相 軌道修正の理由は」毎日新聞、2020 年 4 月 23 日」
<https://mainichi.jp/articles/20200423/k00/00m/040/186000c>
- 「新型コロナウイルス感染症対応に関する有識者会議」
「新型コロナウイルス感染症へのこれまでの取組を踏まえた次の感染症危機に向けた中長期的な課題について」（2023 年 6 月 15 日）
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/coronavirus_yushiki/pdf/corona_kadai.pdf
- 「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（新型コロナウイルス感染症対策専門家会議、2020 年 5 月 1 日）
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/senmonkakaigi/sidai_r020501_1.pdf
- 「4 月 22 日の「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」」
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000624048.pdf>
- 「西浦教授は 4 月 24 日のメディア向けの意見交換会で、4 月 22 日資料と呼応する内容の説明をおこなっている」
北大・西浦教授「8 割接触削減」評価の根拠について説明（2020 年 4 月 24 日）
<https://youtu.be/0M6gpMlssPM>

- 「5 月 1 日の専門家会議での資料と会議後記者会見では、4 月 24 日に説明された Zaghenni et al. (2008)に基づく指標が、接触率から人流に変更された」

政府の専門家会議 感染者減でも「外出自粛などの継続」提言（2020 年 5 月 1 日）

<https://youtu.be/pnh1Kw4ozhM>

「平日昼・30 歳以上、通勤で「8 割削減」達成ならず」 m3.com

<https://www.m3.com/news/open/iryoishin/765967>

- 「資料では「接触率（一人当たりが経験する単位時間当たりの接触頻度）と人流（都市部の人口サイズ）の積に相当する接触行動の変容（以下「接触頻度」という。）」を評価するとしており」

「2020 年 5 月 1 日の専門家会議での報告内容の補足」（厚生労働省コロナ対策本部クラスター対策班）

https://github.com/contactmodel/20200501/blob/master/0501_public.pdf

- 注「「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（図 3、図 4。新型コロナウイルス感染症対策専門家会議、2020 年 5 月 22 日）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000627254.pdf>

- 注「「感染者減「期待に至らなかった」 専門家会議の分析は[新型コロナウイルス]」（朝日新聞デジタル、2020 年 5 月 2 日）」

<https://www.asahi.com/articles/ASN516TKMN51ULBJ014.html>

- 注「篠田英朗「西浦モデルの検証⑧ 西浦教授は専門家会議から撤退せよ」アゴラ（2020 年 5 月 2 日）。」

<https://agora-web.jp/archives/2045808.html>

- 「新型コロナウイルス感染症の医療提供体制確保のための新たな流行シナリオ」

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/senmonkakaigi/sidai_r020619.pdf

- 「3 月 2 日の専門家会議資料」

「新型コロナウイルス感染症の流行シナリオ（2 月 29 日時点）」（新型コロナウイルス感染症対策専門家会議、2020 年 3 月 2 日）

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/senmonkakaigi/sidai_r020302.pdf

第 4 章 基本再生産数の変更

- 「新型インフルエンザ等対策特別措置法案に対する附帯決議 2012 年 3 月 28 日 衆議院内閣委員会」

https://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_rchome.nsf/html/rchome/Futai/naikakuB70CD52800C6CE25492579D1001711EC.htm

- 「新型インフルエンザ等対策特別措置法案に対する附帯決議 2012 年 4 月 24 日 参議院内閣委員会」

https://www.sangiin.go.jp/japanese/gianjoho/ketsugi/180/f063_042401.pdf

- 「新型コロナウイルス感染症の流行シナリオ（2月29日時点）」
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/senmonkakaigi/sidai_r020302.pdf
- 注「橋本佳子「西浦北大教授「3つのCOVID-19流行シナリオ、いずれも最悪の場合」」医療維新（2020年3月11日）。」
<https://www.m3.com/news/open/iryoishin/738238>
- 「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言（3月19日）」
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000610566.pdf>
- 注「新型コロナウイルス感染症の医療提供体制確保のための新たな流行シナリオ」
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/senmonkakaigi/sidai_r020619.pdf
- 「ワクチン接種が進む中で日常生活はどのように変わり得るのか？」
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/taisakusuisin/bunkakai/dai7/vaccine_nichijou.pdf
- 注「分析の詳細は、当日の会議の参考資料3に示されている」
<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/taisakusuisin/bunkakai/dai7/gijisidai.pdf#page=56>
- 「尾身茂新型コロナウイルス感染症対策分科会会長は7月29日の参議院内閣委員会で」
<https://kokkai.ndl.go.jp/txt/120414889X00220210729/83>
- 「尾身氏は、8月10日のウェブ配信番組では」
https://twitter.com/nico_nico_news/status/1425084527609749512

第5章 健康と経済のトレードオフ

- 注「鈴木基「感染対策と社会経済活動、「二項対立」から脱却を」医療維新（2021年11月20日）。」
<https://www.m3.com/news/open/iryoishin/985122>
- 注「内閣府政策統括官（共生社会政策担当）『交通事故の被害・損失の経済的分析に関する調査研究報告書』2007年3月」
<https://www8.cao.go.jp/koutu/chou-ken/19html/houkoku.html>
- 注「内閣府政策統括官（共生社会政策担当）『平成23年度交通事故の被害・損失の経済的分析に関する調査報告書』（2012年3月）の「参考資料5」」
<https://www8.cao.go.jp/koutu/chou-ken/h23/houkoku.html>
- 注「「令和4年度交通事故の被害・損失の経済的分析に関する調査」（2023年3月）」
<https://www8.cao.go.jp/koutu/chou-ken/r04/index.html>
- 「公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針（共通編）」（2023年9月）
<https://www.mlit.go.jp/tec/hyouka/public/230912/shishin/shishin230912.pdf>

第6章 第1波対策の効果と費用

- 注「「2020年8月7日の新型インフルエンザ等対策推進会議新型コロナ対策分科会の

提言（「今後想定される感染状況と対策について」）

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/bunkakai/kongo_soutei_taisaku.pdf

- 『新型インフルエンザ等対策政府行動計画』（平成 25 年 6 月 7 日、平成 29 年 9 月 12 日（変更）） p.4。

https://www.caicm.go.jp/jp/seisaku/ful/keikaku/pdf/h29_koudou.pdf

第 7 章 対策の負荷の偏在

- 注「内閣官房行政改革推進本部事務局「EBPM の推進について」（2019 年 9 月 9 日、EBPM 推進委員会第 4 回資料 1）」

<https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11987457/www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/ebpm/dai4/siryoku1.pdf>

- 注「岩永直子「エンデミックに至る過程で予想される大量の高齢者の死 今が未来を変えるラストチャンス」（BuzzFeed、2022 年 8 月 21 日）」

<https://www.buzzfeed.com/jp/naokoiwanaga/covid-19-nishiura-20220819-2>

第 8 章 行動を理解する

- 「東洋経済オンライン」

<https://toyokeizai.net/sp/visual/tko/covid19/>

- 「2021 年 4 月 8 日の新型コロナウイルス感染症対策分科会資料」

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/taisakusuisin/bunkakai/dai1/kouka_bunseki.pdf

- 「日本公衆衛生学会が作成した「保健師のための積極的疫学調査ガイド」」

https://www.jsph.jp/covid/files/COVID-19_0430.pdf

あとがき

- 「それまでに出てきた経済学的分析をまとめた解説論文」

<https://doi.org/10.1007/s42973-021-00096-6>

- 「2022 年の新型コロナウイルス感染症対応に関する有識者会議」

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/coronavirus_yushiki/pdf/corona_kadai.pdf

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/coronavirus_yushiki/pdf/attachment.pdf

- 「2024 年の政府行動計画の改定」

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/taisakusuisin/dai1_2023/gijisidai_7.pdf

- 岩本康志(2022)「新型コロナウイルス感染症と経済学」

<https://doi.org/10.24742/jhep.2021.10>

参考文献リスト (URL 付)

- アジア・パシフィック・イニシアティブ(2020)『新型コロナ対応民間臨時調査会 調査・検証報告書』ディスカバー・トゥエンティワン。
- 安藤道人・古川知志雄・中田大悟・角谷和彦(2021)「新型コロナ危機への財政的対応：2020 年前半期の記録」『社会科学研究』第 72 巻第 1 号、3 月、129-158 頁。
https://doi.org/10.34607/jssiss.72.1_129
- 稲葉寿(2020)「基本再生産数 R_0 と閾値原理」稲葉寿編『感染症の数理モデル』東京大学出版会、1-61 頁。
- 岩永直子・千葉雄登(2020)「「このままでは 8 割減できない」「8 割おじさん」こと西浦博教授が、コロナ拡大阻止でこの数字にこだわる理由」Buzzfeed News。
<https://www.buzzfeed.com/jp/naokoiwanaga/covid-19-nishiura>
- 岩本康志(2009)「行動経済学は政策をどう変えるのか」池田新介・市村英彦・伊藤秀史編『現代経済学の潮流 2009』東洋経済新報社、61-91 頁
- 岩本康志(2020a)「個別事例分析で抽出された課題」国立国会図書館調査及び立法考査局編『EBPM (証拠に基づく政策形成) の取組と課題』(総合調査報告書)、国立国会図書館、73-84 頁。<https://doi.org/10.11501/11460683>
- 岩本康志(2020b)「感染流行の第 1 波を乗り越えることで得たもの (その X)」
<https://iwmtys.blog.jp/archives/1077574690.html>、「感染流行の第 1 波を乗り越えることで得たもの (その Y)」<https://iwmtys.blog.jp/archives/1077576762.html>、「感染流行の第 1 波を乗り越えることで得たもの (その Z)」
<https://iwmtys.blog.jp/archives/1077581297.html>
- 岩本康志(2021a)「感染症対策の厚生経済学：解説」CIRJE Discussion Paper CIRJE-J-299、1 月。<https://www.cirje.e.u-tokyo.ac.jp/research/dp/2021/2021cj299.pdf>
- 岩本康志(2021b)「新型コロナ危機と財政政策」『経済セミナー増刊 新型コロナ危機に経済学で挑む』、7 月、125-132 頁。
- 岩本康志(2023a)「『接触 8 割削減』の科学的根拠」CIRJE Discussion Paper CIRJE-J-306、7 月。<https://www.cirje.e.u-tokyo.ac.jp/research/dp/2023/2023cj306.pdf>
- 岩本康志(2023b)「『接触 8 割削減』の科学的根拠の再現」CIRJE Discussion Paper CIRJE-J-307、7 月。<https://www.cirje.e.u-tokyo.ac.jp/research/dp/2023/2023cj307.pdf>
- 岩本康志(2024)「なぜ緊急事態措置は想定以上となったのか：数理モデル分析の影響について」CIRJE Discussion Paper CIRJE-J-309、3 月。<https://www.cirje.e.u-tokyo.ac.jp/research/dp/2024/2024cj309.pdf>
- 岩本康志・齋藤智也・大竹文雄(2024)「コロナ危機から視る政策形成過程における専門家のあり方 鼎談・企画 2：コロナ危機における法とそれらの運用」CiDER Policy Discussion Paper PDP006、2 月。<https://cdn.cider.osaka->

u.ac.jp/2025/01/g9cElKq-CiDER-pdp006.pdf

大日康史・菅原民枝(2006)「1 QALY 獲得に対する最大支払い意思額に関する研究」『医療と社会』第 16 巻第 2 号、157-165 頁。<https://doi.org/10.4091/iken.16.157>

尾身茂(2023)『1100 日間の葛藤：新型コロナ・パンデミック、専門家たちの記録』日経 BP。

金本良嗣(1999)「費用便益分析における効率と公平」社会資本整備の費用効果分析に係る経済学の問題研究会編『費用便益分析に係る経済学的基本問題』。

https://www.mlit.go.jp/pri/houkoku/gaiyou/pdf/H11_1_1.pdf

河合香織(2021)『分水嶺：ドキュメント コロナ対策専門家会議』岩波書店。

木内登英(2020)「首都東京ロックダウン（都市封鎖）が経済に与える打撃」三菱総合研究所。<https://www.nri.com/jp/knowledge/blog/lst/2020/fis/kiuchi/0326>

久保田荘(2021)「新型コロナウイルス危機のマクロ経済分析」『医療経済研究』、第 33 巻第 1 号、10 月、18-36 頁。<https://doi.org/10.24742/jhep.2021.01>

熊野英生(2020)「東京封鎖 1 カ月で損失 5.1 兆円、科学的な費用対効果は」ロイター。

<https://jp.reuters.com/article/column-hideo-kumano-idJPKBN21H0QS/>

瀬戸一・大木聖子(2015)「ラクイラ地震裁判：災害科学の不定性と科学者の責任」『科学技術社会論研究』第 11 号、50-67 頁。https://doi.org/10.24646/jnlsts.11.0_50

国立国会図書館調査及び統計局(2000)「新型コロナウイルス感染症への政策対応：主要国の経済対策の概要」『調査と情報—ISSUE BRIEF』9 月、No.1111。

https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11537739_po_1111.pdf?contentNo=1

後藤励・井深陽子(2020)『健康経済学：市場と規制のあいだで』有斐閣。

高橋泰・江口成美・石川雅俊(2020)「地域の医療提供体制の現状-都道府県別・二次医療圏別データ集-(2020 年 4 月 第 8 版)」日医総研ワーキングペーパー、No. 443。

https://www.jmari.med.or.jp/research/research/wr_697.html

内閣府(2021)「日本経済 2020-2021—感染症の危機から立ち上がる日本経済—」

仲田泰祐(2021)「コロナ感染症対策と社会経済活動の両立」

https://covid19outputjapan.github.io/JP/files/Nakata_NikkeiGakkai_20211010.pdf

仲田泰祐(2023)「パンデミック対策の EBPM」CARF Working Paper CARF-J-119、12 月。<https://www.carf.e.u-tokyo.ac.jp/research/j119/>

仲田泰祐・芳賀沼和哉・塚原悠貴(2023)「第一波感染シミュレーションの再現性」

<https://www.bicea.e.u-tokyo.ac.jp/policy-analysis-65/>

西浦博(2020)「特別寄稿：西浦博・北大教授「8 割おじさん」の数理モデル」『ニューズウィーク日本版』6 月 9 日号。

<https://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2020/06/8-39.php>

西浦博(2021a)「マスコミが伝えない「集団免疫」の“本当の意味”…ワクチン接種で流行は収まるのか？」現代ビジネス。<https://gendai.media/articles/-/81092>

- 西浦博(2021b)「西浦博教授が描く「私が最も恐れ、怯えているシナリオ」の“中身”」現代ビジネス。<https://gendai.media/articles/-/85823>
- 西浦博(2021c)「西浦博教授が考える「ワクチン接種が進む日本」でこれから先に見込まれる“展開”」現代ビジネス。<https://gendai.media/articles/-/86584>
- 西浦博・川端裕人(2020)『理論疫学者・西浦博の挑戦 新型コロナからいのちを守れ!』中央公論新社。
- 西浦博編(2022)『感染症流行を読み解く数理』日本評論社。
- 西村康稔(2022)『コロナとの死闘』幻冬舎。
- 八田達夫(2009)『ミクロ経済学Ⅱ』東洋経済新報社。
- 藤垣裕子(2021)「作動中の科学と科学的助言：時間軸と責任境界をめぐって」『研究 技術 計画』第36巻第2号、108–115頁。https://doi.org/10.20801/jsrpim.36.2_108
- 松尾敬子・菊地乃依瑠・佐藤靖(2021)「新型コロナウイルス感染症対策における数理モデルを活用した科学的助言」『研究 技術 計画』第36巻第2号、pp.155-168。
https://doi.org/10.20801/jsrpim.36.2_155
- 森川正之(2020)「コロナ危機対策利用企業の生産性」RIETI ポリシー・ディスカッション・ペーパー、20-P-031、12月。
<https://www.rieti.go.jp/jp/publications/pdp/20p031.pdf>
- Acemoglu, Daron, and David Autor (2011), “Skills, Tasks and Technologies: Implications for Employment and Earnings,” Orley Ashenfelter and David Card eds., *Handbook of Labor Economics*, Vol. 4b, Elsevier, pp.1043–1171. [https://doi.org/10.1016/S0169-7218\(11\)02410-5](https://doi.org/10.1016/S0169-7218(11)02410-5)
- Acemoglu, Daron, et al. (2021), “Optimal Targeted Lockdowns in a Multigroup SIR Model,” *American Economic Review: Insights*, Vol. 3, Issue 4, December, pp. 487–502. <https://doi.org/10.1257/aeri.20200590>
- Akerlof, George A. and William T. Dickens (1982), “The Economic Consequences of Cognitive Dissonance,” *American Economic Review*, Vol. 72, No. 3, June, pp. 307–319. <https://www.jstor.org/stable/1831534>
- Alfaro, Laura, et al. (2020), “Social Interactions in Pandemics: Fear, Altruism, and Reciprocity,” NBER Working Paper No. 27134, May. <https://doi.org/10.3386/w27134>
- Alvarez, Fernando, David Argente and Francesco Lippi (2021) “A Simple Planning Problem for COVID-19 Lockdown,” *American Economic Review: Insights*, Vol. 3, No. 3, September, pp. 367–82. <https://doi.org/10.1257/aeri.20200201>
- Andreoni, James (1989), “Giving with Impure Altruism: Applications to Charity and Ricardian Equivalence,” *Journal of Political Economy*, Vol.97, No. 6, December, pp. 1447–1458. <https://www.jstor.org/stable/1833247>
- Atkeson, Andrew, Karen Kopecky and Tao Zha (2020), “Estimating and Forecasting

- Disease Scenarios for COVID-19 with an SIR Model,” NBER Working Paper No. 27335, June. <https://doi.org/10.3386/w27335>
- Autor, David H., Frank Levy and Richard J. Murnane (2003), “The Skill Content of Recent Technological Change: An Empirical Exploration,” *Quarterly Journal of Economics*, Vol. 118, Issue 4, November, pp. 1279–1333.
<https://doi.org/10.1162/003355303322552801>
- Baqae, David, et al. (2020), “Policies for a Second Wave,” in Janice C. Eberly, et al. eds., *Brookings Papers on Economic Activities*, Summer, pp. 385–431.
<https://www.brookings.edu/articles/policies-for-a-second-wave/>
- Becker, Gary S. (1974), “A Theory of Social Interactions,” *Journal of Political Economy*, Vol. 82, No. 6, December, pp. 1063–1093. <https://www.jstor.org/stable/1830662>
- Begon, M., et al. (2002), “A Clarification of Transmission Terms in Host-microparasite Models: Numbers, Densities and Areas,” *Epidemiology & Infection*, Vol. 129, Issue 1, August, pp. 147–153. <https://doi.org/10.1017/S0950268802007148>
- Benabou, Roland and Jean Tirole (2006), “Incentives and Prosocial Behavior,” *American Economic Review*, Vol. 96, No. 5, December, pp. 1652–1678.
<https://doi.org/10.1257/aer.96.5.1652>
- Billah, Arif, Mamun Miah and Nuruzzaman Khan (2020), “Reproductive Number of Coronavirus: A Systematic Review and Meta-analysis Based on Global Level Evidence,” *PLoS ONE*, Vol. 15, No. 11, e0242128.
<https://doi.org/10.1371/journal.pone.0242128>
- Boardman, Anthony E., et al. (2018), *Cost–Benefit Analysis: Concepts and Practice*, 5th ed., Cambridge: Cambridge University Press.
- Brotherhood, Luiz, et al. (2024), “Optimal Age-based Policies for Pandemics: An Economic Analysis of Covid-19 and Beyond,” NBER Working Paper No. 32558, June.
<https://doi.org/10.3386/w32558>
- Coase, R. H. (1960), “The Problem of Social Cost,” *Journal of Law and Economics*, Vol. 3 October, pp. 1–44. <https://www.jstor.org/stable/724810>
- Dhungel, Bibha, et al. (2022), “Reliability of Early Estimates of the Basic Reproduction Number of COVID-19: A Systematic Review and Meta-Analysis,” *International Journal of Environmental Research and Public Health*, Vol. 19, Issue 18, September, 11613. <https://doi.org/10.3390/ijerph191811613>
- Doti, James L. (2021), “Benefit-cost Analysis of COVID-19 Policy Intervention at the State and National Level”, *COVID Economics*, Issue 67, February, pp. 94–127.
https://cepr.org/publications/covid-economics-issue-67#392514_392943_390715
- Eichenbaum, Martin S., Sergio Rebelo and Mathias Trabandt (2021), “The

- Macroeconomics of Epidemics,” *Review of Financial Studies*, Vol. 34, Issue 11, November, pp. 5149–5187. <https://doi.org/10.1093/rfs/hhab040>
- Eichenbaum, Martin S., Sergio Rebelo and Mathias Trabandt (2022), “The Macroeconomics of Testing and Quarantining,” *Journal of Economic Dynamics and Control*, Vol. 138, May, 104337. <https://doi.org/10.1016/j.jedc.2022.104337>
- Elster, Jon (1989), “Social Norms and Economic Theory,” *Journal of Economic Perspectives*, Vol. 3, No. 4, Fall, pp. 99–117. <https://doi.org/10.1257/jep.3.4.99>
- Fehr, Ernst and Simon Gächter (2000), “Fairness and Retaliation: The Economics of Reciprocity,” *Journal of Economic Perspectives*, Vol. 14, No. 3, Summer, pp. 159–181. <https://doi.org/10.1257/jep.14.3.159>
- Ferguson, Neil M., et al. (2006). “Strategies for Mitigating an Influenza Pandemic,” *Nature*, 442, pp. 448–452. <https://doi.org/10.1038/nature04795>
- Ferguson, Neil M., et al. (2020), “Impact of Non-pharmaceutical Interventions (NPIs) to Reduce COVID-19 Mortality and Healthcare Demand.” <https://www.imperial.ac.uk/media/imperial-college/medicine/mrc-gida/2020-03-16-COVID19-Report-9.pdf>
- Gans, Josha S. (2022), “The Economic Consequences of $R = 1$: Towards a Workable Behavioural Epidemiological Model of Pandemics,” *Review of Economic Analysis*, Vol. 14, No. 1, April, pp. 3–25. <https://doi.org/10.15353/rea.v14i1.4786>
- Garibaldi, Pietro, Espen R. Moen and Christopher A. Pissarides (2020), “Modelling Contacts and Transitions in the SIR Epidemics Model,” *COVID Economics*, Issue 5, April 16, pp. 1–20. https://cepr.org/publications/covid-economics-issue-5#392514_392881_390356
- Garibaldi, Pietro, Espen R. Moen and Christopher A. Pissarides (2024), “Static and Dynamic Inefficiencies in an Optimizing Model of Epidemics,” *Economic Theory*, Vol. 77, February, pp. 9–48. <https://doi.org/10.1007/s00199-023-01533-w>
- Geoffard, Pierre-Yves, and Tomas Philipson (1996), “Rational Epidemics and Their Public Control,” *International Economic Review*, Vol. 37, No. 3, August, pp. 603–624. <https://doi.org/10.2307/2527443>
- Gersovitz, Mark, and Jeffrey S. Hammer (2004). “The Economical Control of Infectious Diseases,” *Economic Journal*, Vol. 114, No. 492, January, pp. 1–27. <https://doi.org/10.1046/j.0013-0133.2003.0174.x>
- Glover, Andrew, et al. (2023), “Health versus Wealth: On the Distributional Effects of Controlling a Pandemic,” *Journal of Monetary Economics*, Vol. 140, November, pp. 2023, Pages 34–59. <https://doi.org/10.1016/j.jmoneco.2023.07.003>
- Gollier, Christian and Stephane Straub (2020), “Some Micro/macro Insights on the

- Economics of Coronavirus. Part 2: Health Policy,” *VoxEU*, April 3.
<https://voxeu.org/article/some-micromacro-insights-economics-coronavirus-part-2>
- Gonzalez-Eiras, Martin, and Dirk Niepelt (2020), “Optimally Controlling an Epidemic,” CEPR Discussion Paper DP15541, December. <https://cepr.org/publications/dp15541>
- Hale, Thomas, et al. (2021), “A Global Panel Database of Pandemic Policies (Oxford COVID-19 Government Response Tracker),” *Nature Human Behaviour*, Vol. 5, Issue 4, April, pp. 529–538. <https://doi.org/10.1038/s41562-021-01079-8>
- Hall, Robert E., Charles I. Jones, and Peter J. Klenow (2020), “Trading Off Consumption and COVID-19 Deaths,” *Federal Reserve Bank of Minneapolis Quarterly Review*, Vol. 42, No. 1, June, pp. 1–14. <https://doi.org/10.21034/qv.4211>
- Hargreaves Heap, et al. (2020), “Valuating Health vs Wealth: The Effect of Information and How This Matters for COVID-19 Policymaking,” *VoxEU*, June 6.
<https://voxeu.org/article/health-vs-wealth-trade-and-covid-19-policymaking>
- Hayashi, Katsuma, et al. (2020), “Hospital Caseload Demand in the Presence of Interventions During the COVID-19 Pandemic: A Modeling Study,” *Journal of Clinical Medicine*, Vol. 9, Issue 10, October, 3065.
<https://doi.org/10.3390/jcm9103065>
- Inoue, Chihiro, Yusuke Ishihata and Shintaro Yamaguchi (2024), “Working from Home Leads to More Family-Oriented Men,” *Review of Economics of the Household*, Vol. 22, Issue 2, June, pp. 783–829. <https://doi.org/10.1007/s11150-023-09682-6>
- Iwamoto, Yasushi (2021), “Welfare Economics of Managing an Epidemic: An Exposition,” *Japanese Economic Review*, Vol. 72, No. 4, October, pp. 537–579.
<https://doi.org/10.1007/s42973-021-00096-6>
- Jones, Callum, Thomas Philippon and Venky Venkateswaran (2021), “Optimal Mitigation Policies in a Pandemic: Social Distancing and Working from Home,” *Review of Financial Studies*, Vol. 34, Issue 11, November, pp. 5188–5223.
<https://doi.org/10.1093/rfs/hhab076>
- Jung, Sung-mok, et al. (2020), “Real-Time Estimation of the Risk of Death from Novel Coronavirus (COVID-19) Infection: Inference Using Exported Cases,” *Journal of Clinical Medicine*, Vol. 9, Issue 2, February, 523.
<https://doi.org/10.3390/jcm9020523>
- Jung, Sung-mok, et al. (2021), “Projecting a Second Wave of COVID-19 in Japan with Variable Interventions in High-risk Settings,” *Royal Society Open Science*, Vol. 8, Issue 3, March, 202169. <http://doi.org/10.1098/rsos.202169>
- Kikuchi, Shinnosuke, Sagiri Kitao and Minamo Mikoshiba (2021), “Who Suffers from the COVID-19 Shocks? Labor Market Heterogeneity and Welfare Consequences in

- Japan,” *Journal of the Japanese and International Economies*, Vol. 59, March, 101117.
<https://doi.org/10.1016/j.jjie.2020.101117>
- Kotlikoff, Laurence J. and Scott Burns (2004), *The Generational Storm: What You Need to Know about America’s Economic Future*, Cambridge, MA: MIT Press (邦訳『破産する未来：少子高齢化と米国経済』日本経済新聞社、2005 年)
- Latour, Bruno (1987), *Science in Action: How to Follow Scientists and Engineers Through Society*, Cambridge, MA: Harvard University Press. (邦訳『科学が作られているとき：人類学考察』産業図書、1999 年)
- Li, Qun, et al. (2020), “Early Transmission Dynamics in Wuhan, China, of Novel Coronavirus-Infected Pneumonia,” *New England Journal of Medicines*, Vol. 382, No. 13, March, pp. 1199–1207. <https://doi.org/10.1056/NEJMoa2001316>
- Linton, Natalie M., et al. (2020), "Incubation Period and Other Epidemiological Characteristics of 2019 Novel Coronavirus Infections with Right Truncation: A Statistical Analysis of Publicly Available Case Data" *Journal of Clinical Medicine*, Vol. 9, Issue 2, February, 538. <https://doi.org/10.3390/jcm9020538>
- Lipsitch, Marc (2003), “Transmission Dynamics and Control of Severe Acute Respiratory Syndrome,” *Science*, Vol 300, Issue 5627, June 20, pp. 1966–1970.
<https://doi.org/10.1126/science.1086616>
- Liu, Ying, and Joacim Rocklöv (2021), “The Reproductive Number of the Delta Variant of SARS-CoV-2 is Far Higher Compared to the ancestral SARS-CoV-2 Virus,” *Journal of Travel Medicine*, Vol. 28, Issue 7, October, taab124.
<https://doi.org/10.1093/jtm/taab124>
- Manfredi, Piero and Alberto d’Onofrio eds. (2013), *Modeling the Interplay Between Human Behavior and the Spread of Infectious Diseases*, New York: Springer.
<https://doi.org/10.1007/978-1-4614-5474-8>
- Miles, David, Mike Stedman and Adrian Heald (2020), “Living with COVID-19: Balancing Costs Against Benefits in The Face of the Virus,” *National Institute Economic Review*, Vol. 253, August, R60–R76. <https://doi.org/10.1017/nie.2020.30>
- Miles, David K., Michael Stedman and Adrian H. Heald (2021), ““Stay at Home, Protect the National Health Service, Save Lives”: A Cost Benefit Analysis of the Lockdown in the United Kingdom,” *International Journal of Clinical Practice*, Vol. 75, Issue 3, March, e13674. <https://doi.org/10.1111/ijcp.13674>
- Nishiura, Hiroshi, Natalie M. Linton and Andrei R. Akhmetzhanov (2020), “Serial Interval of Novel Coronavirus (COVID-19) Infections,” *International Journal of Infectious Diseases*, Vol. 93, April, pp. 284–286. <https://doi.org/10.1016/j.ijid.2020.02.060>
- Petrongolo, Barbara and Christopher A. Pissarides (2001), "Looking into the Black Box: A

- Survey of the Matching Function." *Journal of Economic Literature*, Vol. 39, No. 2, June, pp. 390–431. <https://doi.org/10.1257/jel.39.2.390>
- Philipson, Tomas (2000), "Economic Epidemiology and Infectious Diseases," in A. J. Culyer and J. P. Newhouse eds., *Handbook of Health Economics*, Vol. 1, pp. 1761–1799. [https://doi.org/10.1016/S1574-0064\(00\)80046-3](https://doi.org/10.1016/S1574-0064(00)80046-3)
- Pielke, Roger A., Jr. (2007), *The Honest Broker: Making Sense of Science in Policy and Politics*, Cambridge: Cambridge University Press.
- Piguillem, Facundo, and Liyan Shi (2022), "Optimal COVID-19 Quarantine and Testing Policies," *Economic Journal*, Vol. 132, Issue 647, October, pp. 2534–2562. <https://doi.org/10.1093/ej/ueac026>
- Pindyck, Robert S. (2020), "COVID-19 and the Welfare Effects of Reducing Contagion," NBER Working Paper No. 27121, May. <https://www.nber.org/papers/w27121>
- Rowthorn, Robert, and Jan Maciejowski (2020), "A cost–benefit Analysis of the COVID-19 Disease," *Oxford Review of Economic Policy*, Vol. 36, Issue S1, pp. S38–S55, <https://doi.org/10.1093/oxrep/graa030>
- Rowthorn, Robert, and Flavio Toxvaerd (2020), "The Optimal Control of Infectious Diseases via Prevention and Treatment," Cambridge-INET Working Paper Series No: 2020/13, April. <https://doi.org/10.17863/CAM.52481>
- Schelling, Thomas C. (1968), "The Life You Save May Be Your Own," in Samuel B. Chase, Jr. ed., *Problems in Public Expenditure Analysis*, Washington, DC: Brookings Institution, pp. 127–62.
- Scherbina, Anna D. (2020), "Determining the Optimal Duration of the COVID-19 Suppression Policy: A Cost-Benefit Analysis." <https://doi.org/10.2139/ssrn.3562053>
- Titmuss, Richard (1970), *The Gift Relationship: From Human Blood to Social Policy*, London: Allen and Unwin.
- Toxvaerd, Flavio (2020), "Equilibrium Social Distancing," Cambridge-INET Working Paper Series No: 2020/08, March. <https://doi.org/10.17863/CAM.52489>
- Tversky, Amos and Daniel Kahneman (1973), "Availability: A Heuristic for Judging Frequency and Probability," *Cognitive Psychology*, Vol. 5, Issue 2, September, pp. 207–232. [https://doi.org/10.1016/0010-0285\(73\)90033-9](https://doi.org/10.1016/0010-0285(73)90033-9)
- Watanabe, Tsutomu and Tomoyoshi Yabu (2021a), "Japan's Voluntary Lockdown," *PLoS ONE*, Vol. 16, No. 6, e0252468. <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0252468>
- Watanabe, Tsutomu and Tomoyoshi Yabu (2021b), "Japan's Voluntary Lockdown: Further Evidence Based on Age-specific Mobile Location Data," *Japanese Economic Review*, Vol. 72, No. 3, July, pp. 333–370. <https://doi.org/10.1007/s42973-021-00077-9>
- Weimer, David L., and Aidan R. Wining (2017), *Policy Analysis: Concepts and Practice*, 6th

ed., New York: Routledge.

Zagheni, Emilio, et al. (2008), “Using Time-use Data to Parameterize Models for the Spread of Close-contact Infectious Diseases.” *American Journal of Epidemiology*, Volume 168, Issue 9, November, pp. 1082–1090. <https://doi.org/10.1093/aje/kwn220>